

メンタルヘルスワンストップサービス

ストレスチェック制度支援のご案内

働く人の約8割がストレスを感じています、ストレス要因の1位は「仕事に関すること」、2位は「人間関係です。職場のストレス対策として、事業場の実態とニーズに合わせたメンタルヘルス対策をワンストップサービスで提供します。

ストレスチェック制度対応に即したワンストップサービス

ストレスチェック制度は、制度そのものの煩雑さと医師による面接指導が不安といった声が多く、また、産業医やメンタルヘルスの専門家がない中小企業では対策に苦慮しているのが現状です。ストレスチェックは実施したがその後の対応がわからない、これから実施するがスムーズに導入したい、そんな事業場の経営者・担当者の方へ具体的なワンストップサービスをご案内します。

- ①事業場の状況をチェックシートとヒヤリングで確認、実態に応じた具体的な助言をします。ご相談は無料です。
- ②社内資の有効活用(担当者の育成)した取組みを提案、運用を支援します。
- ③教育研修には助成金を利用、低コストで導入できる方法を提案します。面倒な手続きもお任せください。

ストレスチェックに関する3つのサービスでしっかり支援

個別訪問支援

事業場の実態に即した取組みを確実に実施するため

準備・導入後の具体的な支援
高ストレス者の選出・面談支援
実施事務従事者への支援
メンタルヘルス不調にならないポイントアドバイス

高ストレス者に対する面接支援

高ストレス者の医師(産業医)面談へのつなげ方

質問票から高ストレス者の選出
相談された上司の関わり方と面接指導の留意点
高ストレス職場改善
プライバシー保護と不利益な取扱い

衛生委員会に関わる支援

衛生委員会の効果的な活用方法

ストレスチェック制度の適切な審議事項
産業医との連携(コミュニケーション)支援
会議・安全パトロールの効果的な運営方法

ストレスチェックワンストップサービス 今必要なサービスを!

無料相談

ストレスチェック導入に関わる支援として、職場を訪問しご相談内容をお聴きします。すでに実施済の場合は、今後の対応策などご相談ください。具体的な対応方法など助言支援します。受検の勤奨対策、実施体制の整備など対応方法を助言します。

対応提案

ストレスチェック制度に関するチェックシート

チェックシート・ヒヤリングによる実態に応じて具体的な取組方法やスケジュールを提案します。実施事務従事者のフォローします。

ストレスチェック実施

高ストレス対策のルールづくり
衛生委員会の活性化
産業医との連携
高ストレス者への対応
面接指導 カウンセリング
上司の関わり方
教育研修メンタル不調にならないポイント、担い手育成
留意点について
プライバシー保護、不利益な取扱い
外部委託先

定期確認

定期訪問による進捗確認
転倒者との定期報告会
衛生委員会
職場パトロール

初年度は無理なくできる
最小限のことを

働く人の心の保健室 あとむらぼ

名古屋市西区牛島町6-1 名古屋ルーセントタワー40階

TEL 052-526-1056

HPIはこちらから

メンタル あとむらぼ
<http://www.atom-lab.jp>

ストレスチェック制度に関する対策支援

初年度は義務化された事だけ

ストレスチェック制度には義務化と努力義務があります。初年度は義務化されたことだけ実行しましょう。毎年継続していく制度ですから、初年度は義務化項目をしっかりと実施し、基盤を作りましょう。産業医とうまく連携(コミュニケーション)が取れるのもスムーズな運用のポイントです。

義務化された項目

- ① ストレスチェックの実施方法を衛生委員会が調査審議すること
- ② 事業者が労働者に対してストレスチェックを行うこと
- ③ 受検した労働者に対して、実施者からその結果を直接本人に通知させること
- ④ 高ストレス者に医師による面談指導を実施すること
- ⑤ 事業者が、面接を行った医師から就業上の措置に関して意見を聴取すること
- ⑥ 医師の意見を勘案し、必要に応じて適切な措置を講ずること
- ⑦ 本人の同意を得て取得したストレスチェック結果を5年間保存すること

努力義務は次年度からの取り組みに

- ① ストレスチェック結果を一定規模の集団ごとに集計・分析すること
- ② 集団分析結果を勘案し、必要に応じて適切な措置を講ずること

コストが心配

ワンストップサービスで経費節減しましょう。訪問のチェックで状況を確認し、取組みを提案しますので、必要ないサービスをうける必要がないのでコスト削減になります。無料で利用できるサービスや、教育研修には助成金を活用します。

ワンストップサービスは事業場に必要サービスを定期的に提供します。サービス内容は事業場の課題に合わせてカフェテリアで選んでいただけます。

初回相談は無料です。料金は事業場の規模により異なります、※

3ヶ月ベーシックコース	90分	150,000円(税別)	別途交通費
月1回訪問	120分	165,000円(税別)	別途交通費
6ヶ月ベーシックコース	90分	300,000円(税別)	別途交通費
月1回訪問	120分	330,000円(税別)	別途交通費

■ サービス内容の例 ■

情報提供
教育研修: 1訪問につき1回
産業保健スタッフ・人事労務担当との連携、会議への出席
衛生委員会での調査審議支援、職場巡視
職場復帰支援
アンケート調査(別料金)

※ サービス内容はこれ以外にも対応可能です。

事業規模が小さくなると衛生環境まで手が回らない、外部へ研修を受けに行く機会が少なくなる、そんなお悩みも解消できます。

社内人材育成

自社のスタッフ教育をします。社内でやれる人を探し育てましょう。社内にはいないと思いがちですが、今まで取り組んだことがないのでそう思い込んでいるのではないのでしょうか？社内を見渡せば担い手達は身近なところにいます、しっかり教育し専門知識を身に着けた社員は、次年度の取組の中心となって活躍します、コスト削減にもなります。

■ 質問票では実態の判断がつきにくい。

自記式のため本人が操作できる。人事考課や異動など不利益な支障がでるのではないかと不安から、組織(または部署)によっては本音を回答しない。

■ 高ストレス者の選出がしにくい

結果は本人にしか通知されないため、申出がないと医師面談につなげられない。上司(管理監督者)は申出があった場合の対応が分からないため、判断を誤る可能性がある。いきなりの医師(産業医)面談には躊躇してしまう。

■ ストレスチェック後の対応が分からない

(安全)衛生委員会が機能していない職場が多いので、調査審議が不十分なことがある。対処療法では根本的にはメンタルヘルス対策を講ずることができない。

■ 初年度の対応策を間違えると、2年目から効果がでない。

すでに実施済みの事業場から、このような課題もできました。社員への周知、相談窓口、上司のフォロー体制、職場復帰までのルール、そしてなにより衛生委員会を活性化させましょう。

メンタルコンディション測定サービス LifeScoreQuick COCOLOLO



「ストレス/リラックス度」と「ココロの柔軟性」の2つの指標からココロのバランスを測定するシステムです。カウンセリングはストレスチェックと心理テストをあわせてメンタルコンディションを知ることから始まります。高ストレス者への対応に活用します。

小規模事業所の心の健康づくり支援

産業医や衛生委員会の設置義務のない50人未満の小規模事業場は、ストレスチェック制度は努力義務となっています。事業場規模が小さくなると衛生対策まで手が回らない、外部へ研修に行く機会が少なくなります。しかし職業性ストレス要因は規模に関わらず存在します。ストレス要因の軽減、従業員のストレス耐性を高める、社会的支援によるサポート体制など、無料で利用できるサービス活用法や、短期間・低コストで対応できる支援を提供します。

お申込み・お問い合わせ先

検索

メンタル あとむらぼ
<http://www.atom-lab.jp>

働く人の心の保健室 あとむらぼ

TEL 052-526-1056 E-mail hashino@atom-lab.jp